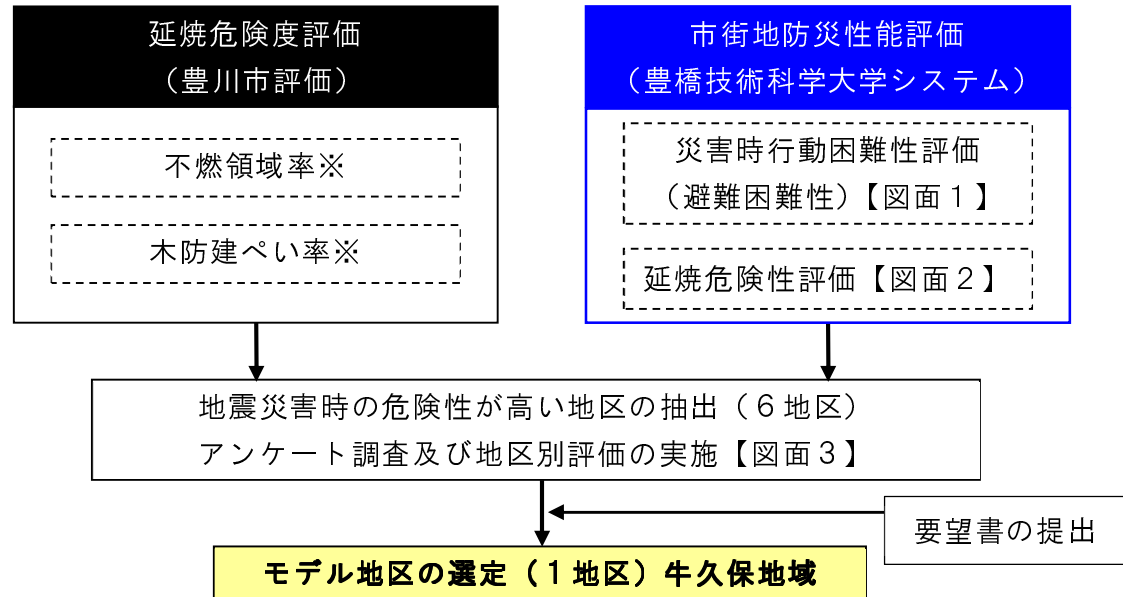


■事業内容（平成26年度）

- 市街化区域内における災害危険地域の調査（延焼危険性・避難困難性）を実施
- 抽出地区へのアンケート調査及び地区別評価を実施
- 優先的に事業検討（地元協議）を進めるモデル地区として1地区を選定

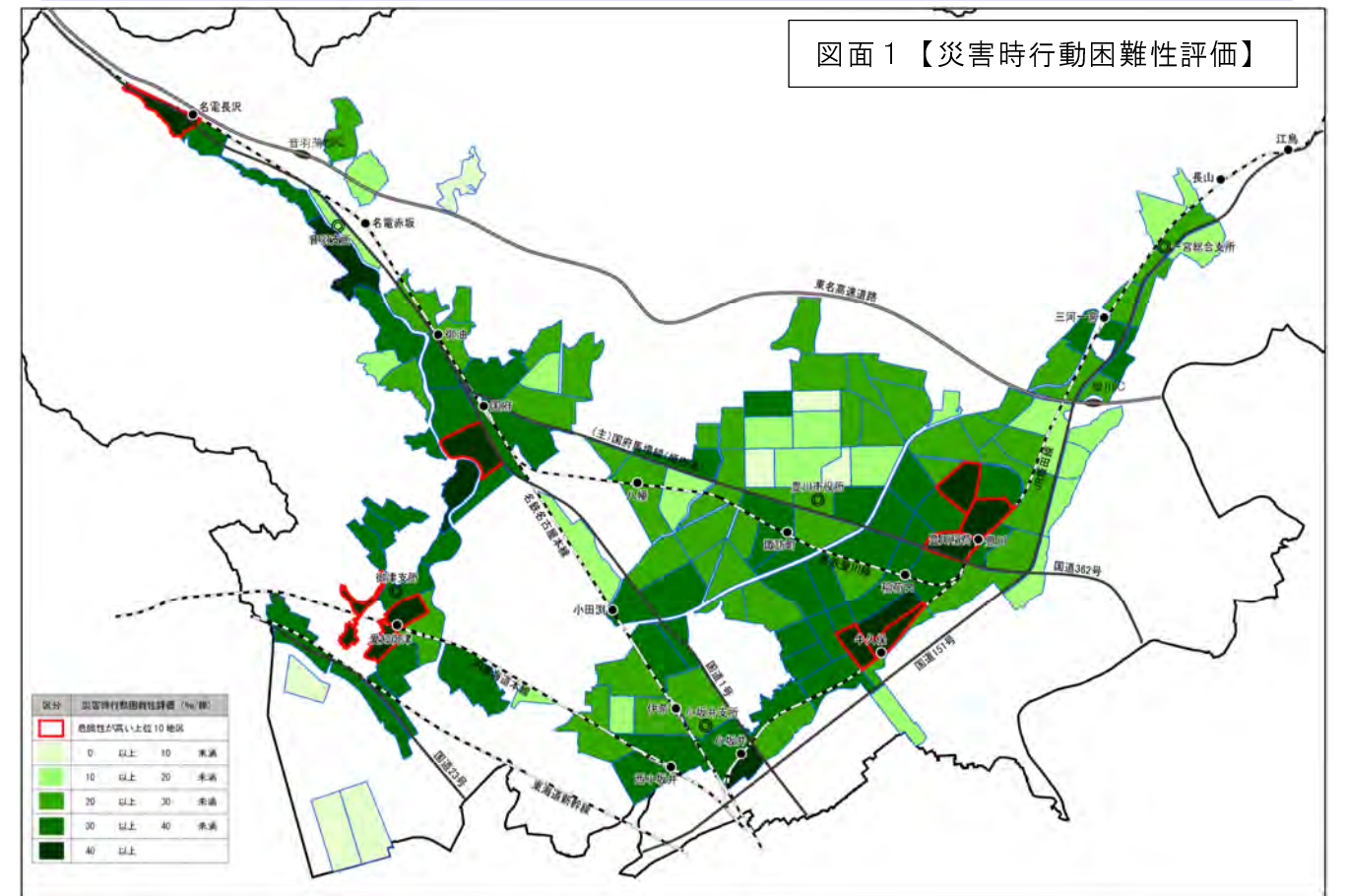


※不燃領域率と木防建ぺい率（国資料）

図：平成26年度フロー 地区の燃えにくさ（不燃領域）、燃えやすさ（木防建ぺい）を表す指標

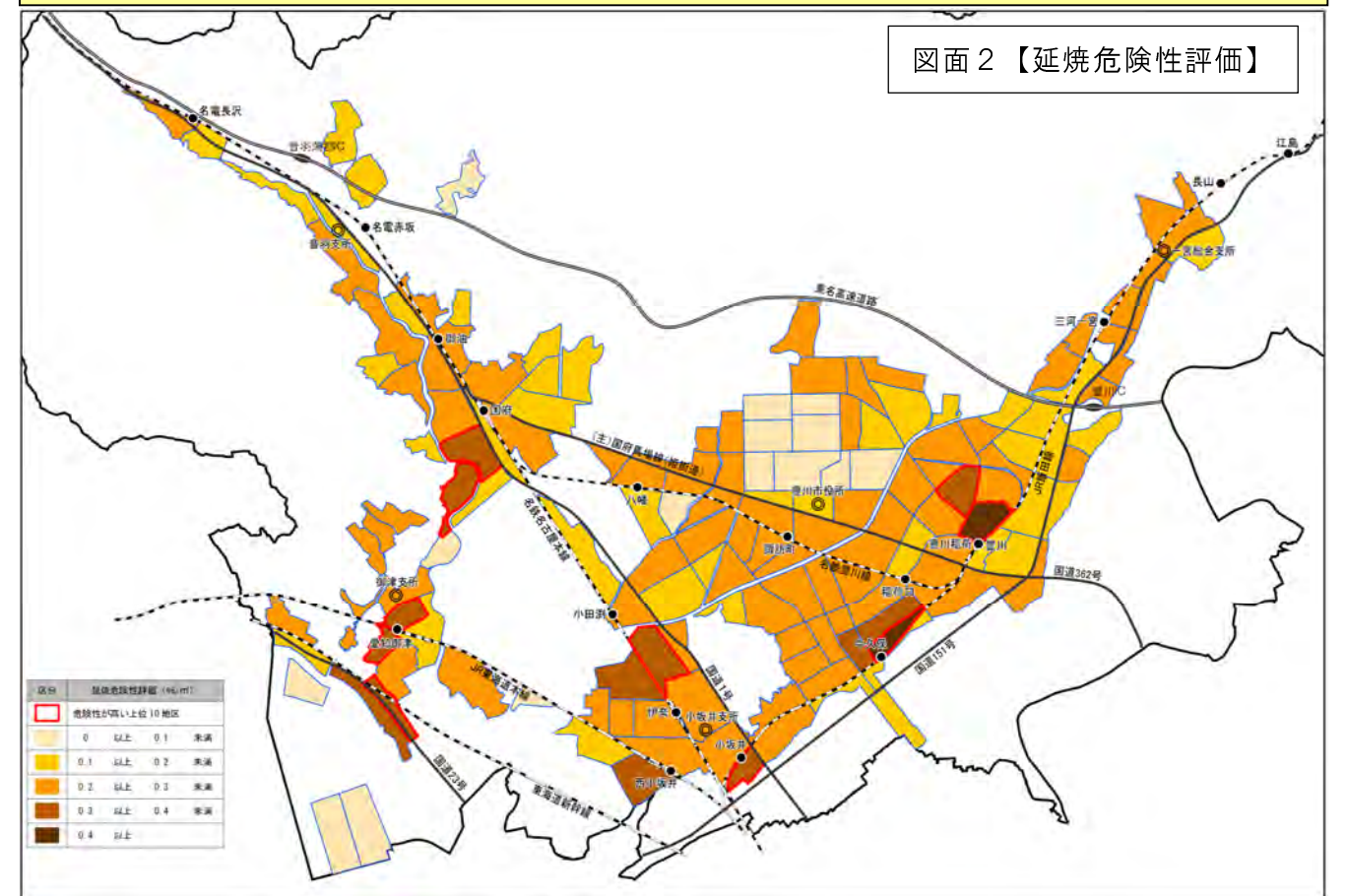
豊橋技術科学大学による災害危険地域の調査（東三河地域防災協議会共同研究）

図面1【災害時行動困難性評価】



行動困難・延焼の各評価において危険性が高く、かつ重複する地区 112ha（3.4%）

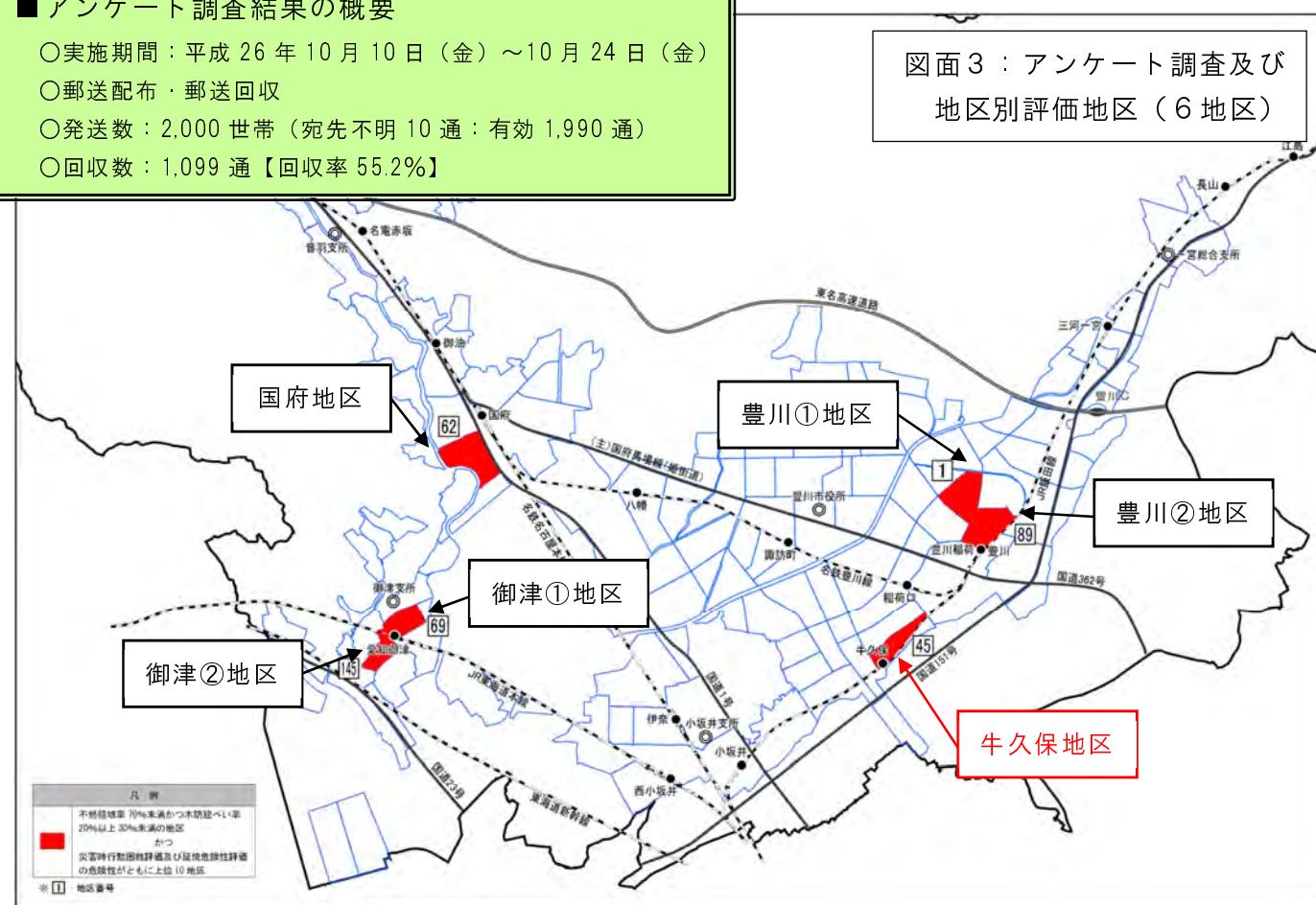
図面2【延焼危険性評価】



■アンケート調査結果の概要

- 実施期間：平成26年10月10日（金）～10月24日（金）
- 郵送配布・郵送回収
- 発送数：2,000世帯（宛先不明10通：有効1,990通）
- 回収数：1,099通【回収率55.2%】

図面3：アンケート調査及び地区別評価地区（6地区）





# 豊川市密集市街地整備事業について

## ■事業内容

平成27年度

内容及び役割 (◎：主体、○：補助、△：支援)

内容	協議会	豊川市	豊橋技科大
まちづくり協議会の設置 ※市から協議会へ活動費補助金を交付	◎ 委員選出・規約	○ 補助金	—
ワークショップ形式による検討(3回)	◎ 参加・議論	◎ 助言	◎ 運営
開催周知文及び「かわら版」の作成 (各3回)	△ 監修・回覧	○ 印刷	◎ 作成
「まち歩き調査」の実施(1回)	◎ 参加・議論	◎ 助言	◎ 運営
コミュニティ防災マップの作成	△ 監修	○ 印刷	◎ 作成
課題取りまとめ(報告書作成)	△ 監修	○ 助言	◎ 作成

※協議会へ大学・市が介入し、地元協議を支援

## ワークショップの事例

「住民意見を引き出す会合の場として実施 ⇒ 防災に限らず地域の課題を出し合い、共有する組織として期待」



## まち歩き調査の事例

「地域住民が参加し、「まち」を実際に歩いて良い点、問題となる箇所を調査する方法」

## 課題整理図の事例



## 平成27年度の体系図

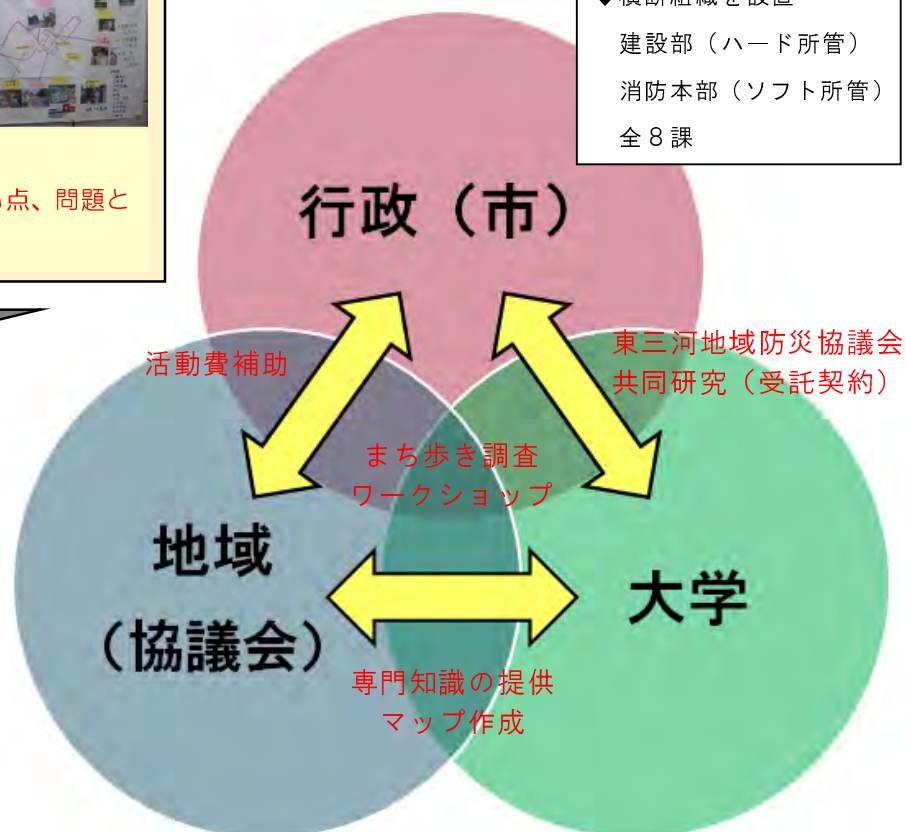
密集市街地整備推進部会

◆横断組織を設置

建設部(ハード所管)

消防本部(ソフト所管)

全8課



## ■牛久保安心・安全なまちづくり協議会

○代表者 会長 柴田 勝

○委員数 32名(任期2年)

※選出分野：連区長、町内会長、消防団、自主防災会、子供会等

設立総会 平成27年7月4日(土) 午後7時00分～  
牛久保公民館 1階集会室



支援し、地域主体のまちづくりを市と大学が推進します

## 対象地区図(面積14.57ha)



## 豊橋技術科学大学【東三河地域防災協議会】



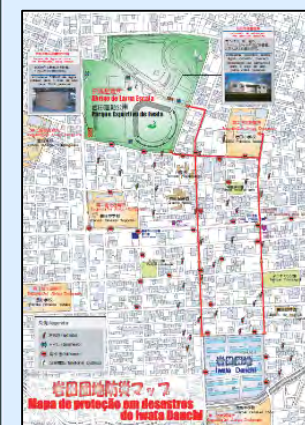
担当教授 理事・副学長 大貝 彰

研究期間 平成26～27年度

研究テーマ「市街地防災性能と地域防災力評価ツールの地域  
コミュニティ事前防災取組への実装」

## コミュニティ防災マップの事例

「まち歩き調査の結果を反映した地域独自のマップ」



- 対象地区住民へ配布
- 行政作成のマップより詳細(ブロック塀、狭あい道路等)
- 地域の実情に応じて内容を決定

## 防災まちづくり講演会の開催(協議会の初回行事のご案内です)

日時：平成27年7月28日(火) 午後7時00分～ 会場：牛久保公民館 1階集会室

講師：豊橋技術科学大学 理事・副学長 大貝 彰

演題：「住民主体の防災まちづくり～防災性能評価を理解し、まちのハードとソフトの課題を改善する～」

対象：牛久保連区にお住まいの方(参加無料、当日会場へお越しください)